

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年08月27日

計画の名称	各務原市下水道整備計画（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～平成31年度（2年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	各務原市												
計画の目標	浸水被害の軽減を図るなど、安全・安心、快適な暮らしを実現する。 総合地震対策計画に基づいた防災・減災対策を実施することにより、災害に強いまちづくりを推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	820	A	820	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値	最終目標値 (H31末)
1	下水道整備による都市浸水対策の達成率を72%（H30）から77%（H31）に増加させる。 下水道整備による都市浸水対策達成率 実施済み雨水幹線整備面積（ha） / 浸水対策に必要な雨水幹線整備面積（ha）	72%	%	77%
2	貯留施設整備による雨水の流出抑制対策の整備率を20%（H30）から25%（H31）に増加させる。 貯留施設整備による雨水の流出抑制対策整備率 貯留施設を整備した各務原市内の公共施設数（箇所） / 貯留施設の整備が必要な各務原市内の公共施設数（箇所）	20%	%	25%
3	避難所におけるマンホールトイレ対策の実施率を0%（H30）から100%（H31）に増加させる。 避難所におけるマンホールトイレ対策実施率 詳細設計を実施したマンホールトイレシステム数（箇所） / 総合地震対策計画で設定したマンホールトイレシステム数（箇所）	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

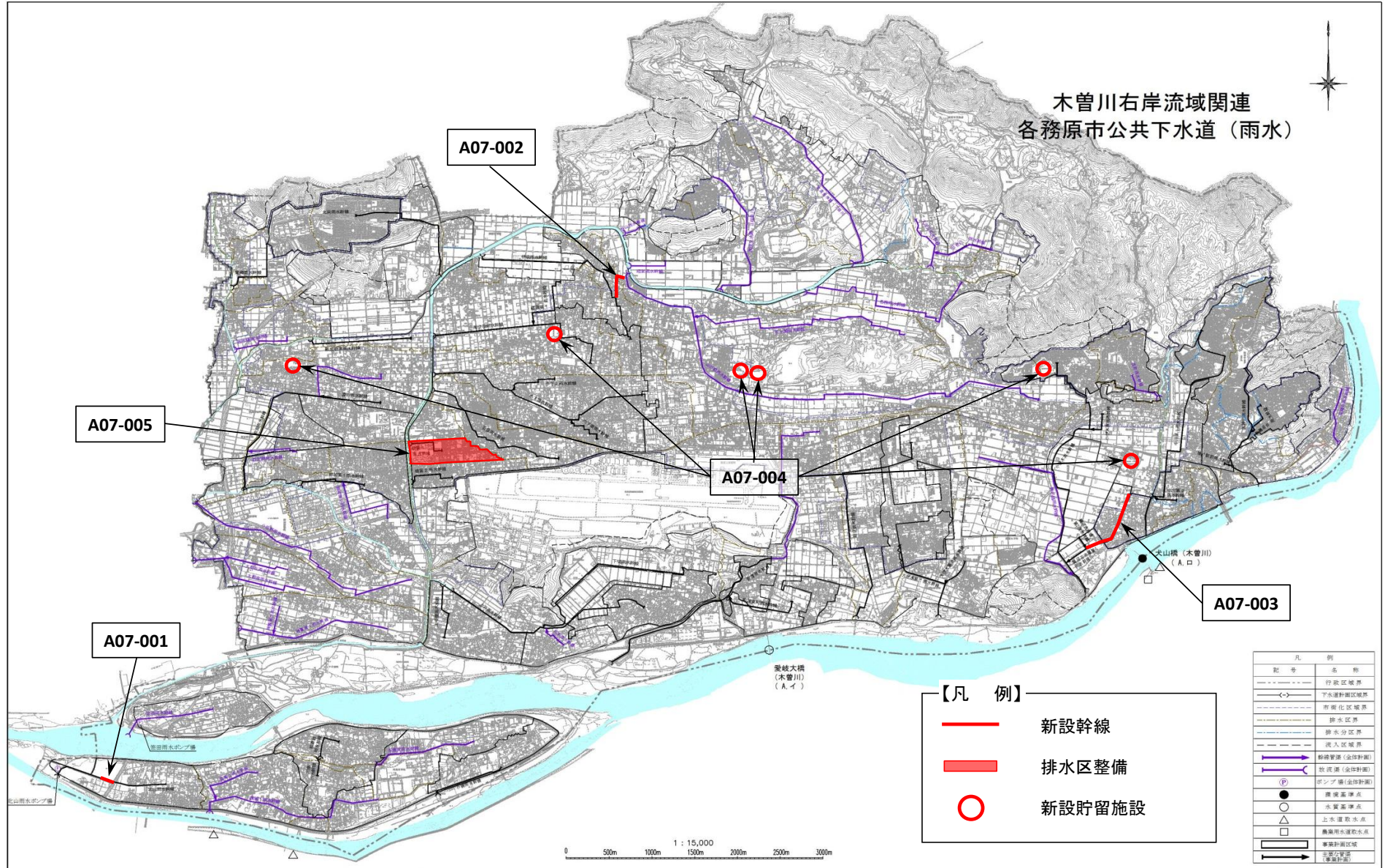
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	各務原市	直接	各務原市	管渠(雨水)	新設	北山雨水幹線(浸水対策)	U2400×2300 L=0.1km	各務原市						75	-	-	
	A07-002	下水道	一般	各務原市	直接	各務原市	管渠(雨水)	新設	伊吹第2雨水幹線(浸水対策)	2000×1500 L=0.4km	各務原市						402	-	-	
	A07-003	下水道	一般	各務原市	直接	各務原市	管渠(雨水)	新設	古市場雨水幹線(浸水対策)	詳細設計 N=1式	各務原市						0	-	-	
	A07-004	下水道	一般	各務原市	直接	各務原市	管渠(雨水)	新設	雨水流出抑制対策(浸水対策)	流域貯留施設 N=6箇所	各務原市						298	-	-	
	A07-005	下水道	一般	各務原市	直接	各務原市	管渠(雨水)	新設	楠第1排水区(浸水対策)	1000×1000 L=0.1km	各務原市						34	-	-	
	A07-006	下水道	一般	各務原市	直接	各務原市	管渠(汚水)	新設	マンホールトイレ(地震対策)	詳細設計 N=1式	各務原市						11	-	策定済	
		総合地震																		
												小計						820		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
各務原市水道部下水道課において実施	R3年8月に実施
	公表の方法
	各務原市HPにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・雨水幹線の整備により、下水道による都市浸水対策達成率が72%となり、雨水をすみやかに排除することができるようになったことで、家屋等浸水被害の低減につながった。 ・市内に3か所の雨水貯留施設を整備したことで、家屋等浸水被害の低減につながった。 ・総合地震対策計画で設定したマンホールトイレ14箇所の詳細設計について、予定通り実施できた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・近年多発する集中豪雨に対し、雨水幹線や雨水貯留浸透施設の整備を早急に進めることで、浸水被害の軽減を図り、安心・安全な市民生活の確保を目指す。 ・今後は、マンホールトイレの整備に着手し、防災・減災対策を実施し、災害に強いまちづくりを推進していく。 	

計画の名称	各務原市下水道整備計画 (防災・安全) (重点計画)		交付対象	各務原市 (雨水)
計画の期間	平成30年度 ~ 平成31年度 (2年間)			

各務原市全図



木曾川右岸流域関連
各務原市公共下水道 (雨水)



- 【凡 例】
- 新設幹線
 - 排水区整備
 - 新設貯留施設

記号	凡 例
---	行政区域界
---	下水道計画区域界
---	市界区域界
---	排水区域界
---	排水分区域界
---	流入区域界
→	幹線管線 (金体計画)
→	放流管 (金体計画)
Ⓟ	ポンプ場 (金体計画)
●	調整池
○	水質監視点
△	上水道取水点
△	農業用水取水点
□	事業計画区域
→	主要幹線 (事業計画)



計画の名称	各務原市下水道整備計画（防災・安全）（重点計画）		
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）	交付対象	各務原市（污水）

